

鎌手小学校6年「心に残る文化財子ども塾」

1. 活動の概要

平成30年5月17日金曜日、浜田市立旭小学校6年生23名、教職員1名を対象に「心に残る文化財子ども塾」を開催しました。1時間目は地元の遺跡の紹介、体験活動は「大仏パネル」と「和同開珎作り」でした。旭町では中国横断自動車道建設に伴って、古代の遺跡が多数見つかっています。その中には仏教の広まりを示す「重富廃寺」もあり、遺跡と体験活動をからめることが可能になる、面白い地域です。

1時間目は、映写で地元の遺跡を紹介しました。埋蔵文化財調査センターが平成初期に行った調査の写真多数を用いて紹介しました。高速道路に近い和田地区、重富地区から通っている児童は土地勘があって、よく反応してくれました。やつおもて古墳の調査では鉄器がよい状態で残っており、いろんな形の鏃(やじり)が子供たちの興味を引いていました。

2時間目は大仏パネルを組み立てました。設計図で大仏の全体像をたしかめながら組み立てていきます。「瑞穂小学校、所要時間15分」に負けるなど全員ハッスルし、ほぼ同じ時間で完成にこぎつけました。台座の原型が蓮の花であることに、一寸驚いたようです。

3時間目は和同開珎作りを体験しました。4、4、5、5、5人の五班にわかれしました。各班ともチームワークがよく、金属を溶かす人、鋳型に注入する人などきばきと役割分担を決めて作業していました。心配された、金属が側面から漏れ出すアクシデントも起こらず、器用に「マイ貨幣」を完成させました。

古代という一つの時代を集中的に学習し、自分が住む地域との関わりを実感する、密度の濃い時間になったようでした。

2. 活動の様子

1)古代の着る物・食べ物について学ぶ



「歴史公園」の模型のモデルになった「やつおもて古墳」の写真です。



さまざまな形の鉄器に興味がかかります。



ばらばらになったパーツを組み立てるのは大変！



体育館いっぱいの「大仏」が完成しました。



金属の注入が終わりました。



取り出した銭のバリを切り落とします。。

3. 子ども塾を終えて

1) 児童の皆さんから…

- ・お金だけでなく、金属鏡なども作ってみたいです。。
- ・ごはんを作りたい。
- ・まが玉、皿、刀を作りたい。。
- ・奈良の大仏はどうしてあんなに大きく作られたのか。。
- ・遺跡をリアルで見たい。

2) 担任の先生から…

- ・とても楽しく学習でき、興味・関心が高まりました。

3) 埋文センターから